



Asian Youth
Development Program
in OKINAWA 2011

AYDPO2011 報告書: 2031年のビジョン

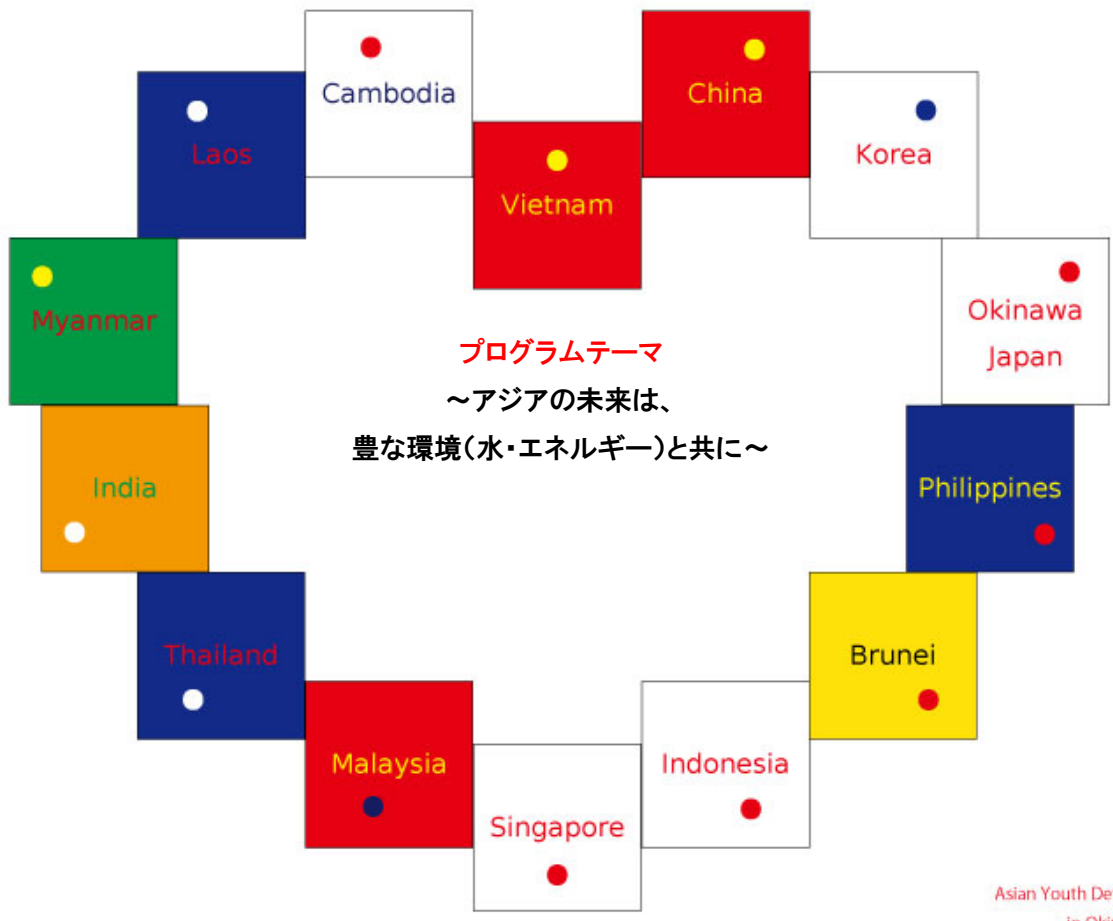
宣言文

ビジョンロボット

個人行動カレンダー

母なる地球のために

参加青年及びスタッフ名簿



プログラムテーマ
～アジアの未来は、
豊かな環境(水・エネルギー)と共に～

Asian Youth Development Program
in Okinawa 2011

宣言文

要 旨

我々の住む世界では、水が最も重要なものです。それにも関わらず、老人や若者、多くの人々が水の必要性に関する問題を未だ認識していません。産業化が水資源にダメージを与え、また国家間の開発格差を生み出してしまいました。この両方の問題が、世界の何百万人もの人に毎日影響を及ぼしているのです。

安全な飲料水を容易に得られない子供達が深刻な健康被害に苦しむことは珍しくありません。その結果、3秒に1人の子供が水を原因とする病気によって命を落としています。それ以外の多くの子供達、特に女の子は水を手に入れるためだけに数時間も歩かなければならないので、学校に通い、適切な教育をうけることができません。

そうやっているにも関わらず子供達が手に入れることのできる水は工場排水や未処理の下水によって汚染されているのです。

一方で、多くの先進国では人々は簡単に水を得ることができ、それゆえにその大切さと、この貴重な資源が不足していることに気づかずにいるのです。それとは対照的に、水を手に入れにくい国では水資源の使用をめぐる紛争が起こっています。

最後に、水が汚染された結果、多様な海洋生態系が脅かされています。いくつかの水生生物は脅威にさらされており、うち数種は絶滅の危機にさえ瀕しています。ここ沖縄でも地球温暖化や水質汚染によるさんご礁の白化現象が起きています。

2031年に向けた我々のビジョンは、このような問題のない世界です。それは、全ての人々が水資源および地球上の海洋生物を保護する責任を自覚している世界です。

それは、全ての人々が十分な量の安全な水を手に入れることができ、この貴重な資源についてのあらゆる問題に関する知識を有する世界です。全ての国が手を取り合い、地球上の水の状態を改善するために協働することのできる社会です。

この世界を実現するために、我々が達成したいと願っている目標、そして、その目標を達成するためになすべき行動が記された宣言、「ビジョン2031」を作成しました。

その宣言に挙げられる目標及び行動は以下のとおりです。

1. 水の問題に関する教育の向上
2. 水の公平な分配
3. 水の衛生状態を改善するための安価な技術

1. 水の問題に関する教育の向上

2031年には教育は著しく発展しており、国籍や個人的な事情に関係なく、全ての人が自分の夢を追い求める機会を得ることができるでしょう。全ての子供達は毎日学校に通い、毎日十分な食事、十分な水を得る権利を享受することになるでしょう。学校では、環境教育が重要な教科の一つとして教えられていることでしょう。更に人々は生活における水資源の重要性に気づき、全てのコミュニティは水に関わる問題とその問題がもたらし得る結果を認識することとなるでしょう。

2031年までにとるべき行動

A. 個人・コミュニティの行動

- ・ 水がかげがえのない資源であることをコミュニティがより深く理解できるように、水問題に関して気づいたことを広めていく
- ・ 水資源管理の方法について人々に教育を行えるよう、発展途上国や開発途上国においてより深くコミュニティが関与するプロジェクトを作成する
- ・ 簡単な浄水方法を人々に教える（雨水など）

B. 政府の行動

- ・ 教育が受けやすくなるよう国家予算を増額し、学校の数を増やす
- ・ 子供達に持続可能な水資源の利用を考えさせるために、全ての学校で水問題に関する必修科目を開始する

2. 水の公平な分配

先進国および開発途上国における水の公平な分配は 2031年までに達成されるでしょう。公平な分配の定義は、生活していくうえで必要最低限な水を全ての人が等しく使えるようにすることです。更に、産業界は水の使用限度をきちんと守るようになります。その頃までには国際社会の指導者達はそれぞれの国において水を分配する上での最善策に関する選択肢やアイデアを共有したり、話し合ったりできるようになっているでしょう。これは、国際社会や地域社会における様々な活動を通して達成されます。

2031年までにとるべき行動

A. 個人の行動

- ・ 節水と水の賢い利用を心がけそれを人々に広めていく

B. 企業の行動

- ・ 水質汚染を抑えるため、工場排水を水界（海・湖・貯水池）に廃棄する前に適切な処理を施す

C. 政府の行動

水資源の利用に関する共通の合意を結ぶことにより国際協力を確立する

3. 水の衛生状態を改善するための安価な技術

2031年までに全ての国において水の衛生状態は改善されているでしょう。これは水処理施設といたった技術によって可能となります。また、水質浄化技術の分野で、より先進的な研究が行われることでしょう。そうすることにより、各国の経済状態に関係なく全ての国で清潔な水を手に入れることができます。

2031年までにとるべき行動

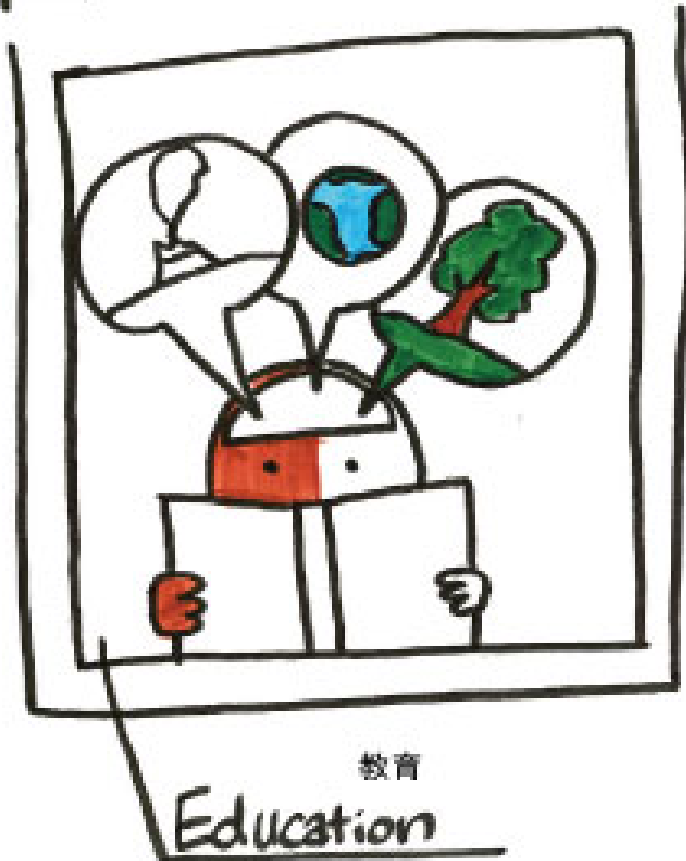
A. 政府の行動

- ・ より安価で持続可能な水質浄化の方法を確立するため、水及び環境に関する国家予算を増額する
- ・ 水が確実に手に入るよう、先進国は清潔な水を得るための技術及び方法を発展途上国と共有する。
- ・ 水質汚染に対するより厳しい法律や政策を制定する。

以上のことを実行し、ビジョン 2031 を達成することによってより良い世界を築くことができると我々は信じています。AYDPO2011 では、48 人の参加者が 20 日間、今後 20 年で世界はどのようなことが成し遂げられるかを想像するという共通の目的を達成するために一丸となって取り組みました。

*Closed version

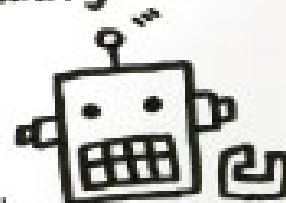
扉を閉じたイメージ



VISION
ROBOT
2031

This robot's function is to...

- ① Turn dirty water to clean water
- ② Give clean water to everyone
- ③ With its monitor, educate children about environments and equality
- ④ Recycle ↻

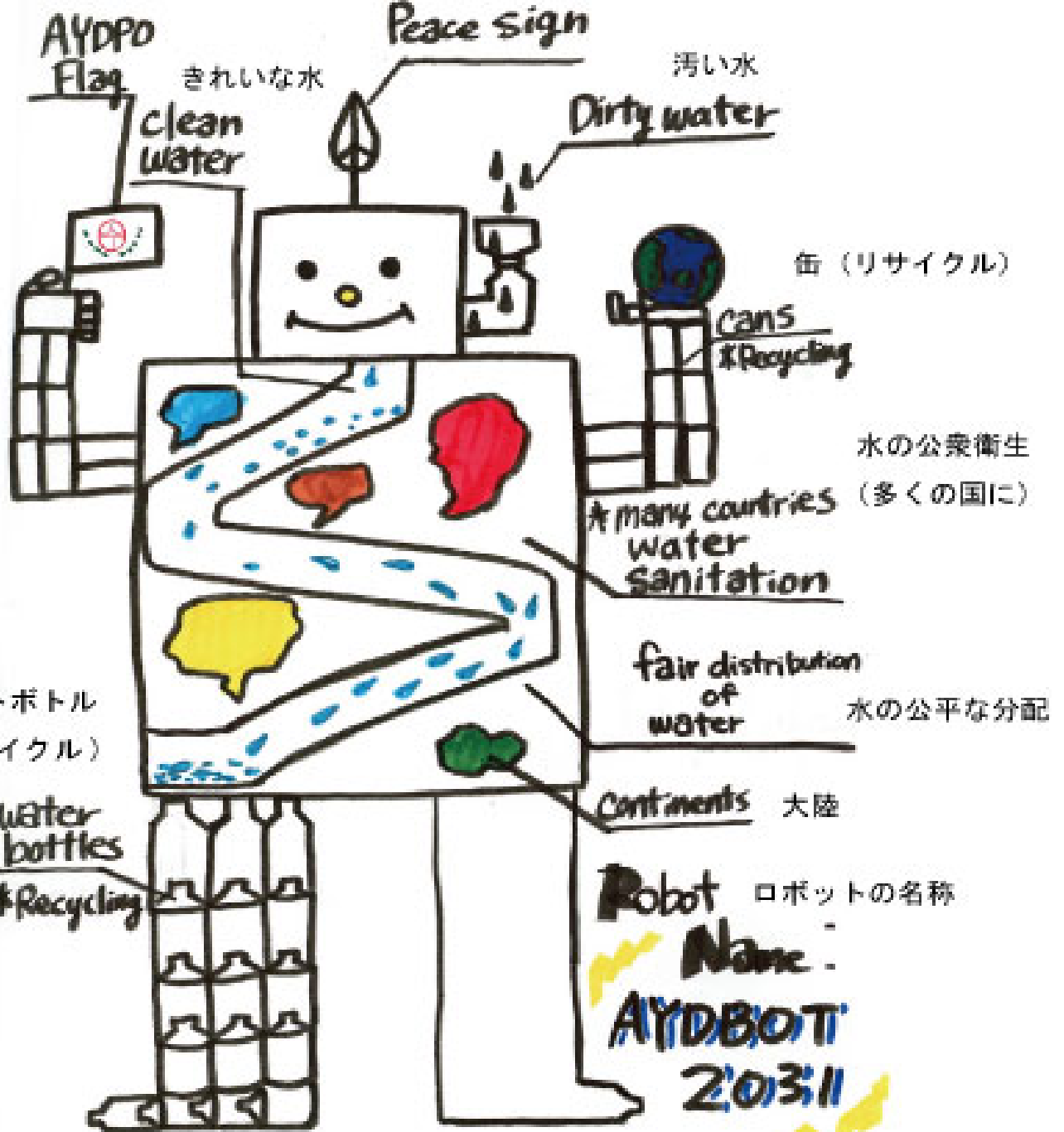


☆「ビジョンロボット2031」の機能は、

- ① 汚水を浄水に変えること。
- ② 皆にきれいな水を与えること。
- ③ モニターを使って、子どもたちに環境や公平さを教えること。
- ④ リサイクル

AYDPO ロゴマーク (旗)

平和のしるし



Asian Youth Development Program in Okinawa 2011

個人行動カレンダー

日付	行動内容	名前	国・地域
2011年12月25日	世界を変える権力を持つ人になっている	ミドリ	日本
2012年8月18日	環境保護のため少なくとも100人に働きかける	ジェイミー	シンガポール
2013年4月3日	世界の問題解決のため教育、貧困や環境関連の勉強をしている	ミキコ	日本
2014年7月14日	利用可能な技術を用いて教育を行う	タン	タイ
2015年8月7日	冷房不使用を訴えるため自ら模範となる	アーティカ	マレーシア
2015年12月8日	イギリス留学の後に編集者となる	バッファ	日本
2017年7月30日	自国発展のため勉強する	チェン	カンボジア
2017年8月5日	ADYPO 2017年ではチューターとして参加する	ジョー	韓国
2018年3月26日	教育委員会委員となり、新教育制度を始動させる	ユリア	日本
2019年4月7日	発展途上国で子ども全員が学校に通えるように働く	ミキコ	日本
2020年1月1日	新しいエネルギー源を見出すため宇宙探索をする	ミカ	中国
2020年4月1日	先生になり、子どもに地球を保護することを教える	ユミカ	日本
2020年4月5日	環境工学の勉強し、建設会社を興す	リー	フィリピン
2020年4月8日	世界規模の教育機関を設立する	マイカ	日本
2020年4月27日	技術者として成功して環境保全事業に取り組む	アナス	マレーシア
2020年9月15日	技術者になり、ハイテクを使用した自動車工場をつくる	ルアタ	ミャンマー
2020年11月8日	国連オンラインボランティアになり、国際関係に取り組む	ナナ	日本
2020年11月20日	環境に優しい技術を共有できるフォーラムを立ち上げる	ジュン	韓国
2020年12月5日	新しい文化を体験し人々を手助けするため、世界中を旅する	マサキ	日本
2020年12月20日	森林保全事業に参加する	ネーム	タイ
2021年4月1日	発展途上国で先生として働く	モモコ	日本
2021年5月31日	建物及び住宅用ソーラーパネルを生産する	アッシト	インド
2021年8月25日	環境保全技術を開発する	アリボン	日本
2021年12月8日	JICAに加わる	バッファ	日本
2022年12月22日	国際会議を開く	ブルス	日本
2025年4月1日	国連ボランティアになる	ヨシノ	日本
2025年5月20日	平等雇用の機会を与え、学生間交流プログラムを開く	アジム	ブルネイ
2025年7月30日	人々に水の保全及び処理についての教育を行う	チェン	カンボジア
2025年8月12日	国連職員になり、そしてAYDPO2025で講演をする	カナ	日本

日付	行動内容	名前	国・地域
2025年8月26日	中国の国連代表として国際会議に出席する	マイケル	中国
2025年12月15日	アフリカでボランティア活動をし、日本文化を広げる	ユキカ	日本
2026年5月9日	日本の首相になり、“全員に電気を”という制度をつくる	モモ	日本
2026年6月6日	カンボジアの大使になる	ティ ティ	カンボジア
2026年6月7日	植樹活動をする	アイノ	日本
2027年1月2日	フィリピン代表として国連に勤める	セサル	フィリピン
2027年4月24日	医師になり、アフリカの病気の研究及び治療を行う	ジョージン	シンガポール
2027年5月16日	情報を共有し、技術発展のため研究する	ファーラ	ブルネイ
2027年11月21日	ソーラーカーを無償で提供する	ミサ	日本
2028年12月31日	水の保全活動をする機関を運営し、インドネシア政府高官と共に国内での水利用を管理する	アスリ	インドネシア
2029年8月18日	インターナショナルスクールの先生になる	ユト	日本
2030年2月8日	水問題の会議を開く	アスリ	インドネシア
2030年7月5日	主要な教育関係NGOの設立者として国連会議に出席する	サンヤ	インド
2030年8月8日	国連職員となり、戦争及び兵器廃止に取り組む	ユイ	日本
2030年10月26日	ラオス代表国連ボランティアになり、先生として人々を教育する	モス	ラオス
2031年1月30日	自国の大統領になる	ジアン	ベトナム
2031年1月31日	教育関係の知識を増やして夢を叶える	ヌーク	ラオス
2031年2月12日	国連職員になり、子供たちに環境について教える	カナ	日本
2031年4月14日	大学に入学する	タン	タイ
2031年8月1日	インドネシアの環境大臣になる	ドニ	インドネシア
2031年8月31日	環境問題を中心とした教育制度をつくる	モトキ	日本
2031年9月28日	食糧農業機関の職員になり、食糧問題について研究する	コマキ	日本
2031年10月10日	ヤンゴン市長になり、環境関連政策を施行する	サンディー	ミャンマー
2031年11月21日	大臣になり太陽光技術を支援する	ミサ	日本
2031年12月2日	国連事務総長になり水問題解決に取り組む	フェルナンド	ベトナム
2031年12月24日	外交官になり、自然保護活動に取り組む	ケイ	日本

この個人行動カレンダーは参加者が2031年のビジョンを実現するために実施したい行動です。

For You Mother Earth (母なる地球のために)

AYDPO2011 オリジナルソング訳 (参加者による作詞・作曲)

人はみな異なる文化を持ち
違う歴史をもち、違う見方がある
戦いあって、一番になろうとして
でもいまになって無理と気付く
自然を無視した
木々も、空も、生命も
なくしてからでは遅いけど
今なら変えることができる
ぼくらが生きる20年後の世界で
喜びにあふれ、
青空、太陽にずっと微笑んでくれて欲しい
僕らが未来を握っているから。
共に手を取り合う時がきた
みんなで助け合って、分け合って、変えて
いく
今こそ立ち上がり、団結すべきなのさ
YES WE CAN
一人はみんなのために、みんなはこの母な
る地球のために
自然を無視した
木々も、空も、生命も
なくしてからでは遅いけど

今なら変えることができる
ぼくらが生きる20年後の世界で
喜びにあふれ、
青空、太陽にずっと微笑んでくれて欲しい
僕らが未来を握っているから。
共に手を取り合う時がきた
みんなで助け合って、分け合って、変えて
いく
今こそ立ち上がり、団結すべきなのさ
YES WE CAN
一人はみんなのために、みんなはこの母な
る地球のために
共に手を取り合う時がきた
みんなで助け合って、分け合って、変えて
いく
今こそ立ち上がり、団結すべきなのさ
YES WE CAN
一人はみんなのために、みんなはこの母な
る地球のために
一人はみんなのために、みんなはこの母な
る地球のために
一人はみんなのために、みんなはこの母な
る地球のために

参加青年及びスタッフ名簿

Aino Nakaza	Masaki Saoka
Aki Goto	May Pyeetson Aung
Akio Matsumura	Mayuko Sakihama
Akshit Chopra	Midori Kawakami
Arisa Yoshida	Mikiko Matsumoto
Asaka Higa	Miria Moromizato
Asri Mega Putri	Misako Mori
Ayane Ishigaki	Misato Kawama
Cesar Ernesto Mapa Suplido	Momo Pauline Watanabe
Chaiwat Lucksanapirak	Momoha Ikenaga
Chitnupong Yadee	Momoko Hasegawa
Cid Rey Red	Motoki Okumura
Daishin Matsumoto	Muhammad Anas Bin Sahabuden
Dk Farah Diyana Pg Anak Yaakob	Muhammad Azim Shamir
Donnie Indrawan	Muhammad Badi'uzzaman Bin Abdul Lattif
Erika Shimabukuro	Muhammad Naif Yusoff
Gerard Miyashiro	Nagisa Kanazawa
Giang Thi Nguyen	Nana Azuma
Hatsumi Kinjo	Nana Ebi
Hiroko Tomori	Naomi Kyan
Jamie Ye Shuyi	Natsuki Tome
Joejyn Marcus Wan	Natsumi Nakazato
Juhyun Kim	Norikazu Takara
Kana Oki	Noriko Kugai
Kei Nosoko	Permana Yogie
Keiichiro Nakamura	Phavadee Phasavath
Kim Soo Hyeon	Rem Ruat Thanga
Kiyoko Ishii	Rializza Taguinod Maramba
Koki Yamaguchi	Rika Hiraki
Komaki Kishaba	Ryota Hakui
Kumiko Ueshiro	Ryudo Komesu
Maika Yamamoto	Safira Nur Askarina
Makoto Suzuki	Sandy Wint Than
Mami Fujishima	Sanya Chhikara
Mariko Yokoda	Satsumi Nakachi

Sayaka Sakuma	Yeonjoon You
Shiho Matsumoto	Yishu Zhang
Sinya Yohena	Yoko Mori
Siti Nur Atiqah Binti Mat Noor	Yoshika Yamauchi
Sitthima Keovongkoth	Yoshimi Kinoshita
Sokcheng Ngo	Yoshino Iha
Solee Song	Yui Nakabayashi
Suchawadee Theamsawet	Yukika Fujii
Tadashi Hirai	Yuko Taira
Tomonari Sunagawa	Yumika Tomita
Toyoko Tsukazaki	Yuria Sakiyama
Tung Thanh Tran	Yuto Ota
Yaxing Tan	Zizhong Tang
Ye Rin Park	

参加青年及びプログラムスタッフ(ユースリーダー、チューター、ファシリテーター、コーディネーターを含む)の氏名はアルファベット順に記載しています。

「AYDPO2011 報告書：ビジョン2031」は2011年アジアユース人材育成プログラム参加者が作成したものです。

本報告書の著作権は参加者にありますが、クレジット表記を行いかつ非営利目的の場合に限り複製、転載、掲載することを認めます。

AYDPO 2011 参加者一同